

令和4年度 学校評価表

学校教育目標		この島に生まれ育った誇りと自信を持って、学び続ける生徒の育成 ～さまざまな体験活動をとおして～													
ミッション		地域の強みを生かした小中高連携による瀬戸田教育の発展			ビジョン		中学生がリーダーシップをとって生口・高根島の未来をけん引する。具体的には、コミュニティスクールの強みを生かし、小中高が地域と連携し、持続可能なまちづくりの提言等を行う。その際には、福山市立大学の指導を仰ぎ、取組の充実を図ることで早期にユネスコスクールへ加盟し、志を同じくする世界の学校と連帯することで多様性を認め合い、世界平和へ向け連帯の輪を広げる。					尾道市立瀬戸田中学校			
評価計画						自己評価				学校関係者評価			改善計画		
	中期経営目標	短期経営目標	目標達成のための方策	評価指標	目標値	7月 達成値	1月 達成値	達成度	評価	結果と課題の説明	二次評価 イロハ			コメント	改善案
認識 する 力	地域、ふるさとを知り、自らに自信と誇りをもつ生徒	1 ふるさと学習の充実	・「総合的な学習の時間」の充実 1年：「弁当の日」 2年：アートマイル 3年：KWN日本コンテスト	・生徒アンケート項目「総合的な学習の時間」は、ふるさとのことを学ぶ有意義な時間である」の評価80%以上		87.5	91.6	114.5		・1年生は「弁当の日」で地域の食材について学び、2年生は「アートマイル」で瀬戸田の地の恵みについて考え、3年生は「動画制作」で地域の観光資源の発信を行った。また「地域には自慢できることがある」の肯定的回答は93.0であった。学習を通して地域を誇りに思う生徒が増えている。			・「総合的な学習の時間」は、瀬戸田中学校だからこそ実施できる学習内容で、かつ教育効果の高い学習内容でもある。今後も継続していただきたい。 ・校則について生徒会が主体となって、Chromebookを活用し、アンケートを実施し、改善したと言っている。われわれの学生時代では考えられない取組だが、とてもよい取組であると感じた。このような生徒主体の取組を仕組んでほしい。 ・自己肯定感は、日本の中学生はとりわけ低いと聞いている。瀬戸田中学校の生徒が、最を出たとしても、自分に自信をもって生きていけるよう、教育活動のなかで鍛えてほしいと思う。	・「総合的な学習の時間」について、中学校の3年間では「ふるさと学習」の系統的な学習ができていない。今後は、コミュニティスクールとして小学校と内容のつながりを持たせるなど、小中高連携を進めていく。	
		2 自己肯定感の向上	・生徒会を中心とした学校行事の取組と実施	・生徒アンケート項目「生徒主体の学校づくりができていない」の評価80%以上	80%	80.5	96.3	120.0	A	・1学期の行事に続いて、2学期の文化祭も生徒会が中心となって内容を盛り上げたり、校則についてアンケートを実施し、変更したりした。各チームを始めることになり、生徒の考えが生かされるように教員がサポートしている。 ※他の質問項目 自分にはよいところがある（77.5） 自分のよさは周りに認められている（86.6） 自分もよい学校づくりに参加している（79.5）	9 0 0		・生徒会を中心に生徒が主体になって行う活動を設定し、教員の適切な支援のもとに成功体験を積ませることで、自己肯定感の向上を目指す。		
選択 する 力	自ら課題を見つけ、解決に向けて粘り強く取り組む生徒	1 主体的な学び	・各種学力調査等の分析と「課題発見・解決学習」授業改善 ・「体験的な学び」の実践研究（小中高合同研修会）	・各種学力調査の結果が全国平均以上 ・小中高合同研究会開催		国63.0 数46.0 理46.0	国63.0 数46.0 理46.0	91.3		・「全国学力・学習状況調査」の全国平均との差は、国語－6.0、数学－5.4、理科－3.3であった。 ・全教員が研究授業を行った。体験的な学びを充実させること、ICTの活用について授業性のある授業を行うことができた。			・参観日ではない日に学校を訪れて授業を参観し、「いつもの授業」を受ける生徒の姿を見たが、どの授業でも生徒が生きて参加し、頭が下がっている生徒がいなかった。魅力的な授業づくりがされている。点数などの数字も大切だが、引き続き研究授業等で、生徒の意欲を引き出す授業改善を続けてほしい。	・教員も生徒も授業の中でICTを使用することができているが、各教科等でのつたえ力を育成するために、ねらいを明確にして活用していく。	
		2 基礎学力の定着	・ICTを活用した、個に応じた学び ・計画的な家庭学習やドリル学習	・全教科でICTを活用した授業研究実施 ・セミナー学習達成率80%以上	80%	90以上	90以上	90以上	B	※他の質問項目 授業はわかりやすい（94.5） 力強い学びを使うと授業がわかりやすい（90.3） ・セミナー学習を計画的に進めた。学年によっては家庭学習の方法を生徒と考え、自主ノートを始めるなど、力つくと学習となるように工夫している。	9 0 0	・ICTを用いて、欠席生徒にもリモートで授業をしていると聞いている。一人一人を大切にしたい良い取組である。	・ICTを授業で活用するだけでなく、家庭学習の充実のために活用し、生徒が習熟度等に応じて学習できるようにすることで、基礎学力の定着を図る。		
表現 する 力	自ら考え、相手や状況に応じてはっきり表現できる生徒	1 表現活動の充実	・プレゼンテーション力の育成 「総合的な学習の時間」の中間報告会と成果報告会の開催	・生徒アンケート項目「自分の思いを工夫して伝えることができた」の評価80%以上			89.1	111.3		・各行事での発表や各教科での指導に加えて、3年生は進路指導として高校入試の「自己表現」に向けた取組を行い、1、2年生もHr等でスピーチを継続的に行っている。3学期の「立憲式」「総合的な学習の時間の報告会」など、機会を捉えて指導する。			・体験的な学習から学ぶ、自然から学ぶと言った機会が今の生徒は極端にすくなくなっただけではと感じる。生口島、高根島は豊かな自然に囲まれた環境である。この環境を最大限にいかして、教育の効果をあげてもらいたい。 ・3年生には進路決定が早い生徒もいる。中学校卒業後も運動を続ける意志がある場合、心震える体験を最後まで経験させるという教育的観点から、3年生の部活動の参加を許可するということも考えていただきたい。	・「思い」や「考え」を持たせるために、各教科や総合的な学習の時間、学校行事等を積極的にに行い、生徒の心が動く場面を意図的に設定する。	
		2 感性を磨く	・心震える体験 芸術（美術、音楽、演劇等）、スポーツ、読書	・生徒アンケート項目「感動する体験ができた」の評価80%以上	80%	－	89.8	112.2	A	・文化祭の芸術鑑賞や、リーダー中心に生徒主体で行われた運動会での満足度が高かったと思われる。また、部活動でも好成績を残し、達成感を感じている生徒が多い。引き続き「ほんまもん」を鑑賞したり、自ら体験する学習を通して感動体験を積みませたい。	9 0 0		・豊かな表現力を身に付けさせるために、芸術鑑賞等を通じてモデルとなるような表現に出会わせたり、プレゼンテーション等の機会を計画的に与えて表現の場を増やす。		
校区 スタン ダード	校区でスクラムを組み、生き生きと働く職員集団	1 校区スタンダード（小中学校合同取組事項）	・あいさつ ・早寝・早起き・朝ご飯 ・家庭学習の習慣化	・生徒・保護者アンケート項目で習慣化できている生徒の割合80%以上		83.9	84.9	106.1		・「あいさつができていない」は91.3%（→5.7）、「早寝・早起き・朝ご飯の習慣化」は73.5%（→5.2）、「家庭学習の習慣化」は89.9%（→2.4）の肯定的回答となった。生徒会中心の挨拶活動と各学年で家庭学習の定着に向けての取組の成果が見られる。就寝時間が遅くなる生徒が増加傾向であることが課題である。 ・「積極的な情報公開」しているの肯定的回答は、96.6%（→4.6）となった。コードモンや学校メール配信サービスを最大限に活用した結果である。 ・時間外労働が90時間／月以上の職員は、月平均2名だった。毎水曜日の定時退校日の取組が定着してきた。今後も職員の健康管理、維持に努めていく。達成率は88.2%（→5.8）だった。			・あいさつをしっかりとってくれる生徒がここ数年で、ものすごく多くなった。地域の人間としても嬉しく感じるし、生徒から元気ももらえる。これからも、あいさつ指導を続けてほしい。 ・家庭学習の定着に力を入れる。生徒の学力の向上に繋がってもらえたらと思う。 ・アンケートの数値だけではなく、勤務する教員も、学校現場で働く教員も、本当に教育でエビソードをもっと聞かせてもらえれば嬉しい。 ・アンケートの内容で「働きがいを感じる」という項目をつくってもよいのではないかと聞いている。瀬戸田中学校は病気で休むなど休む気はないということに安心している。先生方も体調を気遣って働いてほしい。	・生徒会や部活動単位を中心とした、朝や下校時の「あいさつ運動」を今後も組織的に継続して取り組んでいく。 ・教職員対象アンケートで、「日々の仕事に対して、働きがいを感じている」というような、「働きがい」に係る教職員対象アンケートを実施する。 ・ホームページの更新だけでなく、ホームページを全て導入したコードモンを活用し、保護者に積極的に学校の情報を公開していく。	
		2 地域連携と情報公開	・地域人材の活用（コミュニティ・スクール） ・積極的な情報公開（ホームページ・通信・参観日）	・保護者アンケート項目「学校はホームページ等で積極的に情報公開している」の評価80%以上	80%	92.0	96.6	120.6	A		9 0 0				
		3 働き方改革	・時間外労働の縮減	・職員の時間外労働80時間／月以下		82.4	88.2	110.3							

【外部評価】 イ：自己評価は適正である。ロ：自己評価は適正でない。 ハ：わからない。

尾道市立瀬戸田中学校